

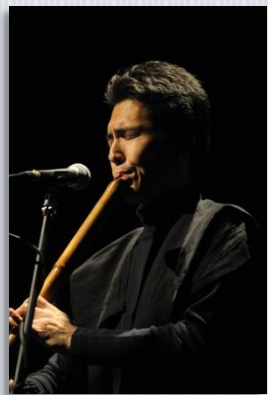
伝統と創造 様式と即興 2人のサムライ 世界を駆け抜ける

19世紀末 アメリカ南部で生まれた 黒人音楽 JAZZ。その自由な表現方法はあらゆる民族性を取り込みながら世界中を旅し、やがてヨーロッパや南米の JAZZ が産まれました。その風は日本にも辿り着き、多くのジャズミュージシャンが登場し、僕もその中で活動を初めました。2000年、より僕らしい JAZZを創りたいと考え気鋭の邦楽器奏者と“東方異聞”を結成。あれから12年、尺八奏者 小濱明人という同志を得て、再び自らのルーツと向き合いたいと思っています。2012年8月 New York で活動を始めた LOTUS POSITION。今、僕たちが信じる日本の響きをお聴きください。(堀越彰)



堀越 彰 [ホリコシアキラ] Drums Percussion Compose & Produce

1965年 東京生まれ。13才からドラムを始め、海老沢一博氏、村上“ボンタ”秀一氏に師事。日舞家の父の影響から、日本の伝統音楽を深く敬愛する。1990年 オーディションにより山下洋輔ニュートリオでデビュー。伊藤多喜雄、夏木マリ、館形比呂一、パパタラフマラ、チェンミン、藤井郷子 等と共に演ずる他、数多くのグループに参加し国内公演を始め海外公演にも多数参加する。ジャズドラムを基軸にしながらも 邦楽や民俗音楽など 古今東西の要素と自由に組み合わせジャンルを超越したプレイスタイルを展開。多様なセッションを通じてきた現在、独自の演出感覚を武器にいくつかの創造的なプロジェクトに着手。薩摩琵琶や尺八 笛など日本の伝統的な楽器と組んだ「東方異聞」、ピアノ深町純 バイオリン渡辺剛と組んだ“3人にして無限大のオーケストラ”「The WILL」、音楽と美術の境界を超越したパフォーマンス「SOLO-ist」、尺八 小濱明人と組み様々なアーティストとコラボレーションする「LOTUS POSITION」等を主宰。その他、フラメンコ公演、和太鼓公演などの構成 演出を手がけ、イベントへの楽曲提供を行う。また都内に2カ所のドラムスクールを持つ。



小濱明人 [オバマ アキヒト] 尺八

香川県高松市生まれ。古典を石川利光、民謡を米谷智に師事。NHK邦楽技能者育成会第46期修了。NHK邦楽オーディション合格。第2回尺八新人王決定戦優勝。04年、全編即興によるソロアルバム『風刻』を発表。05年、『歩き遍路四国八十八カ所奉納演奏Tour』を敢行。自作曲を集めたCD『波と椿と』を発表する。06年、スウェーデン国際吹奏楽フェスティバルに招かれ参加。1カ月に及ぶ欧州ツアーを成功させる。07年、hajimeinoue(electro)との共作、CD『visions.』を発表する。08年、ケネディーセンター主催のジャパンフェスティバル(ワシントン)・国際尺八フェスティバル(シドニー)に招待参加。後藤幸浩(薩摩琵琶)との共作、CD『ミチノネ』を発表。09年、文山アートフェスティバル(台北)に参加し、ソロコンサートを行う。12年、アジア・カルチュラル・カウンシルの助成によりニューヨークへ留学。帰国後、自らのグループによるCD『水～すい～』を発表する。古典本曲や自作曲を中心としたソロ活動の他、民謡の伊藤多喜雄率いる『TAKIO BAND』等数々のグループに参加している。また海外公演も多く、計32カ国で行っている。

Guest



石川 高 [イシカワ コウ] 笙

1990年より笙の演奏活動をはじめ、国内、世界中の音楽祭に出演してきた。近頃は催馬楽などの歌唱でも高い評価を受けている。雅楽古典曲のみならず、現代作品や自主作品の演奏、即興も情熱的に行っている。宮田まゆみ、豊英秋、芝祐靖各氏に師事。雅楽団体「伶楽舎(れいがくしゃ)」に所属。ローラン・テシュネ監督「アンサンブル室町」所属。和光大学「日本の芸能1(前期)」担当。学習院大学「日本の伝統芸能」参加。沖縄県立芸術大学、九州大学にて集中講義担当。朝日カルチャーセンター「古代歌謡」担当。



関口シンゴ [セキグチ シンゴ] Guitar

ギタリスト・コンポーザー・プロデューサー。14歳でギターを弾き始め、20歳から作曲活動を開始。ボーカルのこだまかおるとのユニットEARTや、風景・映像の浮かぶ音楽をコンセプトにしたvusik名義でアルバムをリリース。

また、Ovallのギタリストとして2010年にデビュー後、朝霧JAM、FUJIROCK、SUMMER SONIC、RISING SUNなど大型フェスに出演。1stアルバムはヨーロッパをはじめ世界各地でリリースされ話題になった。2014年には自身のバンドでスウェーデン公演も成功させ、現在来年リリース予定の初のソロアルバムを制作中。